

PET SHELTER
Administrator Association
CHIGASAKI



「官民連携による避難所運営の質の向上強化事業」
内閣府防災 採択事業

2025年「ペット避難所管理リーダー」
育成テキスト

主催 テキスト作成 市民団体マザーアース茅ヶ崎
協力 茅ヶ崎市防災対策課/保健所

テキスト 内容の報告の前に

今年になって鎌倉市・千葉市をはじめ多くの自治体が
「ペット避難の流れ」の訓練を実施していますが…
避難所開設・運営の一環と位置付け避難所開設委員のような
訓練とポジションをもつフレーム構築には至ってないように思
えます…

私達は国が推奨している「ペット避難所の在り方」とは少し異
なる視点からの発想をもったことが マザーアース茅ヶ崎の
「ペット避難所管理リーダー育成」のきっかけになりました

+

○

避難生活を行っている中でのペットの飼養環境には、**さまざまな選択肢**があります。地域や災害の状況、発災からの時間の経過によって選択可能な飼養環境が異なるため、被災者が自らの状況を踏まえて、適切な飼養環境を選択しましょう。

■避難所での飼養

避難所で飼養する場合には、ペットとの同居や住み分けなどについて各避難所が定めたルールに従い、飼い主が責任を持って世話をします。飼養環境の維持管理には、飼い主同士が助け合い、協力することが重要となります。

■車の中で飼養する

在宅避難と同様に、支援物資や情報は、必要に応じて指定避難所などに取りに行くことになります。ペットも熱中症になるため、ペットだけを車中に残すときは、車内の温度に常に注意し、十分な飲み水を用意しておく。長時間、車を離れる場合には、ペットを安全な飼育場所に移動させる必要があります。

■自宅で飼養する

飼い主も自宅に留まる在宅避難の場合、支援物資や情報は、必要に応じ指定避難所などに取りに行くことになります。飼い主は避難所に避難し、ペットを自宅で飼養する場合は、避難所から自宅に世話をしに通うことになりますが、二次災害の危険が考えられる場合は、この方法は避けて同行避難してください。

■施設などに預ける

避難所での飼養が困難な場合や、飼い主の事情により飼養が出来ない場合には、被災していない地域の親戚や友人など、一時預け先を確保することが重要になります。また、自治体等の収容施設、動物病院、民間団体等に一時的に預けるといった方法もあります。

ペット同行避難者も被災者です

やっとの思いでたどり着いた避難所は初めての場所です環境に大きな不安をもちながら自分たちでの管理は**不可能**

避難所の開設・運営は地域住民が担うもの

であるなら・・・ 訓練された「ペット避難所管理リーダー」を育成し
「人とペットも明確な基準のもと」せめて 発災直後の入所が
安心できるものでありたい・・・



災害時におけるペットとの避難について

2026年11月12日(水)

環境省 自然環境局総務課 動物愛護管理室



■ 動物愛護管理行政に関わる記載(2)

第2編 各災害に共通する対策編

第1章 災害予防

第6節 迅速かつ円滑な災害応急対策、災害復旧・復興への備え

7 避難の受入れ及び情報提供活動関係

(3) 指定避難所等

○市町村は、地域的な特性や過去の教訓、想定される災害、感染症対策等を踏まえ、公民館、学校等の公共的施設等を対象に、その管理者の同意を得た上で、避難者が避難生活を送るために必要十分な指定避難所をあらかじめ指定し、平常時から、指定避難所の場所、収容人数、**家庭動物の受入れ方法等**について、住民への周知徹底を図るものとする。また、災害時に指定避難所の開設状況や混雑状況等を周知することも想定し、ホームページやアプリケーション等の多様な手段の整備に努めるものとする。

第2章 災害応急対策

第6節 避難の受入れ及び情報提供活動

○市町村は、指定緊急避難場所や避難所に家庭動物と同行避難した被災者について、適切に受け入れるとともに、避難所等における家庭動物の受入状況を含む避難状況等の把握に努めるものとする。

第6節 避難の受入れ及び情報提供活動

3 指定避難所等

(2) 指定避難所等の運営管理等

市町村は、必要に応じ、**被災者支援等の観点から**指定避難所における家庭動物のための避難スペースの確保等に努めるとともに、獣医師会や動物取扱業者等から必要な支援が受けられるよう、連携に努めるものとする。

災害時のペット対応について



- **基本的な考え方：被災者の救護・支援の観点から、ペットに関する対応を実施**
— 「被災者のためにペット対応を行う」という意識が重要。」



ペットがいることで避難しない、避難できないといった方を円滑に避難させると同時に、ペットが苦手な方、動物にアレルギーを持つ避難者が避難所でストレスを感じないような環境作り
⇒動物愛護の観点からではない

発災直後の現場は当然、人命が最優先。そのうえで、概ね発災後2週間程度（人の対応が落ち着き始めたタイミング）からペット対策の議論が本格化する傾向にある。

そのため、発災直後の現場においてペットを前面に出すことは控えつつも、情報把握や体制作り、物資支援等は始めておくことが重要。

物資や獣医医療、動物の預かりなど、災害対応において民間企業・団体の協力は不可欠。

人とペットが共存する避難所運営の実現に向けてのチャレンジ

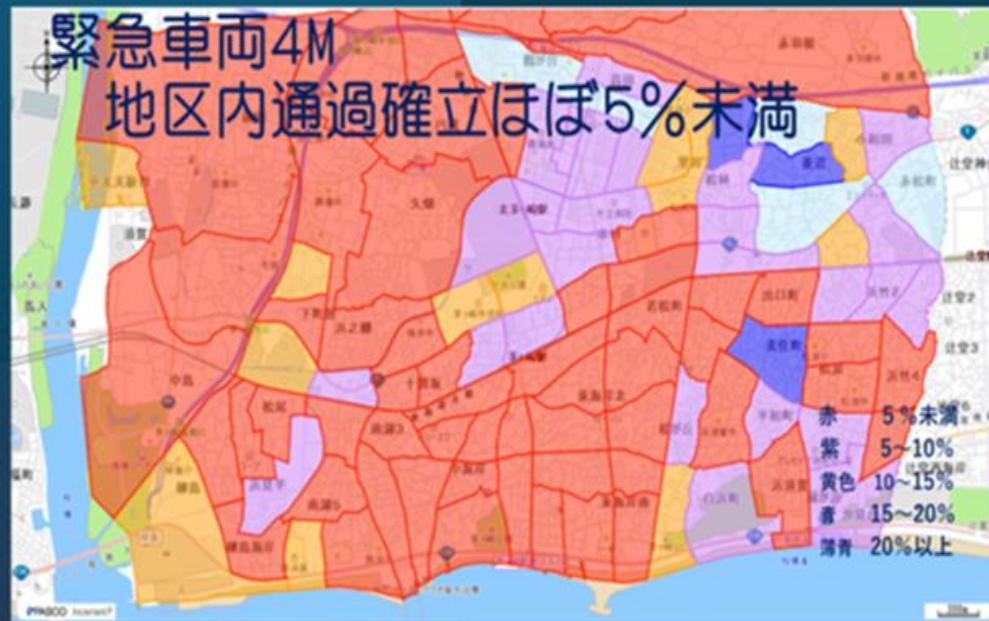
茅ヶ崎市には「犬 約15,000頭が 登録」「猫 約13,000匹と 推定」

猫の登録はされていませんが、犬の約90%が猫に相当するため

犬と猫合わせて 約 28,000匹 が飼われていると考えられます

過去の災害事例からも、人間の避難所開設・運営訓練においても受け入れ時の際は混乱が見られ受け入れ体制が出来ていないままペット同行者が来てしまうと、より混乱する事が想像できます。特に「ペット同行者への対応策が組織として構築がない現状では、飼い主が責任を持って自主運営とされていますが、避難場所を見たこともない・運営の流れも知らない飼い主達がスムーズな受け入れと運営をする事は難しく、多くの不安・不満の問題が起こると考えられます。そのような問題は人間の一般避難所環境にも大きく影響すると思われ、ペット避難所の開設・運営のルールと方法を熟知したチームがいることは「避難所全体の信頼と運営そして環境に大きなメリット」になると考えられます。災害時のペット問題は飼育管理さえ正しく為されれば解決でき、災害時であってもペットは多くの人にとって「コンパニオンアニマルとして人々の心を癒す事」が証明されています。ペット同伴の避難者が居づらく出ていく事のないよう、他の避難者がアレルギーなどで体調を崩すことがないように「明確な線引きと学びを共有したペット避難所管理リーダー」をこのテキストを基に育成し「飼育管理の徹底で誰1人取り残さない避難所」運営を目標とします。

茅ヶ崎南側 延焼クラスター火災

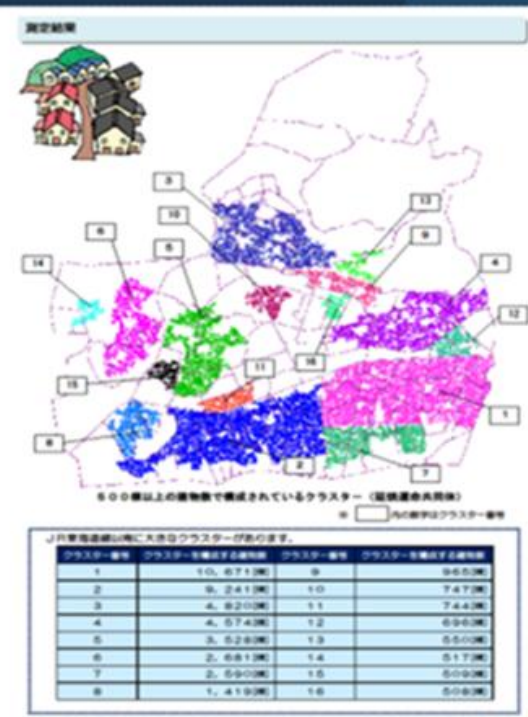


これが**クラスター**と呼ばれる
運命共同体の正体...

1件が出火してそれを消火で
きなかった場合、すべてに延
焼する**木造密集地域**の塊...

神奈川県地震被害想定(H27)

- * 関東大震災再来 **1万2千棟焼失**
- * 津波は相模湾内 **6~10m**
5~10分で到達
- * **液状化・倒壊率** 茅ヶ崎市は高い
- * 茅ヶ崎市・神奈川県は特に**火災**



必要なのはわかる … 誰が率先するの？

1年もかかる・自治会・まちぢからの承認が？
ハードル高すぎ!!

ペット避難所管理リーダー育成 「資格取得」の流れ

3級

- ・ 人の避難所入所訓練もしくはペット避難所入所訓練の体験
- ・ 保健所職員の「避難所でのペット受け入れ」ガイドラインの受講

2級

- ・ ペット避難所管理リーダーテキストに沿い、受け入れ時の考え方・手順・必要書類など「対応基準設定を学びリーダーは共通認識を持ち」対応することを学ぶ
- ・ Gワークで各地域の特性をテキストに反映し、皆で地域独自のテキストを作成（地理的・物理的なテキスト内の名称変更など）

1級

- ・ ペットのケガの応急対応 ⇒ 病院との連帯確認/他機関との連帯を学ぶ
- ・ 出来れば地域獣医師を招き、災害発生時のペット避難所受け入れに必要な「ペット管理リーダーの対応範囲」を明確にして学ぶ（獣医師が見つからなければテキストには1級内容も提供されている）

ペットの同行避難対策はなぜ難しい？



進まない!!

問題山積

これだけの問題点を乗り越える
道筋が見えない

「動物より人間」という意見
人と動物を明確に分けるメリット

指定避難所に動物はダメ
ペット防災訓練が出来ない

場所の確保
人の避難所だって足りない

震災後の同時多発火災の場合を想定

難関-1

「動物より人間」という意見
人と動物を明確に分けるメリット



災害時はすべての避難者
を受け入れなくてはならない

発災後 指定避難所へ行く決断をせざるを得ない！避難所受付
が人もペットも要支援者も同じ場所では大混乱確実！



人とペットの避難所管理リーダーがそれぞれの対応・運営を確実に
できる避難所は機能的で「信頼と安心・安全をうみだす」



「ペット避難所管理リーダー育成」はペット同行者だけにではなく
「避難所運営の質の向上」に寄与することを明確に説明する
ことで進めれば・・・ 難関-1をクリア

難関-2

指定避難所に動物はダメ
ペット防災訓練が出来ない



訓練が出来なければ
防災とはいえない

現在、指定避難場所になっている学校は平常時の動物の進入は禁止とされています…

教育委員会という大きな壁があり防災訓練であってもペットを実際につれて訓練することは叶いません…



そこで考えたのが「ぬいぐるみ」です… 実際に訓練で使用してみたところ考えつかなかった **メリット** が多く **大成功**

ペット避難所入所手順 事例2025

官民連帯による避難所運営の質の向上事業(内閣府防災)



受け入れ前の
ミーティング



飼い主情報受付 ぬいぐるみを選ぶ



ぬいぐるみを使うことで..

1級管理リーダーの実施訓練
が会議室でも可能になり、育
成メソッドを習得したあとの実
施訓練に容易につながられる
実効性が出てきたと考えられ
ます



ぬいぐるみと 奥の2時受付へ



重要ポジション⇒ 現状問診後全ての情報
を入れたタグを作成⇒リーダーがケージを選定



リーダーがケージを選択し、ペットと飼
い主の情報タグをケージに装着
飼い主にはケージナンバータグを交付





「ぬいぐるみ」
のメリットをいかした
③ステップパッケージ

ペット避難所管理リーダー育成に ぬいぐるみ 3ステップ・パッケージ

1段階

- ・実施責任者の決定⇒自主防災会/ペット愛好家から
- ・3～5名集まればOK（リーダーが習得方法と手順を説明に）

2段階

- ・1/2級のテキスト内容の習得(マザーアースHP～ダウンロード)
- ・ぬいぐるみ・ケージ・入所書類などで実施訓練(2時間)
- ・全てペット管理リーダーが補助に入ります(全5時間)

3段階

- ・防災訓練での実施を主催団体から承認を得る
- ・訓練実施に必要な物品はマザーアースが貸出ます



ペット避難所管理リーダー1期生



1年かけて取得した笑顔

2024~2025

3級保健所講義



1級テキスト講義



2級テキスト講義



私達は避難所運営は
明確に「共助」と
考えています

先ずは、2年後を目指し
ビジョンを共有できる
仲間づくりから始めてください……

PET SHELTER
Administrator Association
CHIGASAKI



「官民連携による避難所運営の質の向上強化事業」
内閣府防災 採択事業

2025年「ペット避難所管理リーダー」
育成テキスト

主催 テキスト作成 市民団体マザーアース茅ヶ崎

協力 茅ヶ崎市防災対策課/保健所

「ペット避難所管理リーダー」

育成テキスト完成 報告会



市民団体マザーアース茅ヶ崎代表 山田秀砂

特定非営利活動法人日本危機管理士機構 自然災害危機管理士・防災士

海岸地区まちちから協議会副会長・防災安全部会長・避難所開設委員

避難所の在り方を危惧する地域住民でもあり、あらゆる視点から「ペット避難を可能にするフレーム構築」を4年かけて仲間とともに考え創りだしてテキストが完成「官民連携の避難所の質の向上強化事業」に採択

目的

- 過去の災害の教訓をいかし「人とペットが共存出来る避難所」の整備に必要な人材を**育てる**
- 居住地域特有の災害を学び、ペットとの避難時の「入所・管理に必要な知識を**共通認識**として持つ」人材を育て 避難所の開設・運営をスムーズかつ安全安心に行えるよう訓練をかさね周知に努める
- 避難所運営の主体である 地域住民の**目線**を基本に 作成し実施

育成テキスト作成者

- **2級** 「ペット避難所管理リーダー」 市民団体 **マザーアース茅ヶ崎**
特定非営利活動法人日本危機管理士機構 自然災害危機管理士・防災士

「食事と栄養」 **新倉みさ** ペット栄養管理士/フード安全管理士
- **1級** 「災害時におけるペットの応急対応と応急手当」
成田直樹 獣医師 / 院長
【経歴】日本大学獣医外科学研究室卒業 旭川市, 鎌倉市
で勤務医を経て2008年3月に東海岸北4丁目
シーサイドアニマルクリニック開院

以上の方々のご協力を得て「ペット避難所管理リーダー」育成テキストが誕生

ペット避難所管理リーダー育成 「資格取得」の流れ

3級

- 人の避難所入所訓練もしくはペット避難所入所訓練の体験
- 保健所職員の「避難所でのペット受け入れ」ガイドラインの受講

2級

- ペット避難所管理リーダーテキストに沿い、受け入れ時の考え方・手順・必要書類など「対応基準設定を学びリーダーは共通認識を持ち」対応することを学ぶ
- Gワークで各地域の特性をテキストに反映し、皆で地域独自のテキストを作成（地理的・物理的なテキスト内の名称変更など）

1級

- ペットのケガの応急対応 ⇒ 病院との連帯確認/他機関との連帯を学ぶ
- 出来れば地域獣医師を招き、災害発生時のペット避難所受け入れに必要な「ペット管理リーダーの対応範囲」を明確にして学ぶ（獣医師が見つからなければテキストには1級内容も提供されている）

この
2級育成テキストに
は10のポイントがあ
ります

2級テキスト 10の基本構成

- | | |
|---|--------|
| 1：現状とP避難所管理リーダー(PSA)の必要性 | P 1～7 |
| 2：災害発生時の自分の地域の危険を知って行動
災害想像事例を創り Gワーク | P 8～10 |
| 3：避難所・ペット避難について地域防災計画の基本的
な考え方を学ぶ | P11～12 |
| 4：PSAのペット避難所受け入れの手順と必要書類 | P13～16 |
| 5：PSAの仕事内容と 基本姿勢 | P17～18 |
| 6：現状与えられているスペースの活用 | P19～20 |
| 7：スペースの振り分け基準の確立 Gワーク
P避難所としての機能を満たすには | P21～24 |
| 8：スペースが足りない 何を基準にしたら新たな提案
が可能か Gワーク | P25～28 |
| 9：指定避難所以外の場所を探る(ゴルフ場など) | P29～30 |
| 10：2級講座で得てほしいこと(PSAの 共通認識 に) | P31～32 |

「ペット避難所管理リーダー」

2級 ステップアップ講座

本日の講義は「ペット避難所管理リーダー」
(PSA)の 役割を**明確**にして、人とペットの
同行避難者が **不安や不満** を持つことのない
「心地よいと感じる避難所であるために」
PSA全員が避難所運営に「**共通認識**をもち
チーム」となるための **学びと提案の場** になる
ことを**目標**としています

ペット避難所管理リーダー(PSA) なぜ必要か？

- ペットの後ろには・・・人の命もあります
- 指定された場所の中で人とペットが安心安全でいられるには「共通認識と知識」を持ち運営管理出来るリーダーが必要



災害を乗り越える避難所の受け入れ時の混乱を避け、生活環境状態を上げるのがPSAです

発災時の選択が避難所に行く！なら・・・知っておこう

避難所は いつ・誰が・どうやって？



避難所とは？（家を失った人や自宅生活が困難な人で自宅
に戻れず一定期間滞在し避難生活をおくる場所）

（開設震度5弱茅ヶ崎市）

いつ入れるの？

発災⇒ 配備職員/地域自主防災組織/学校職員
の中で現場に早く着いた者が開錠

どうやって？（地域の防災力が試される）

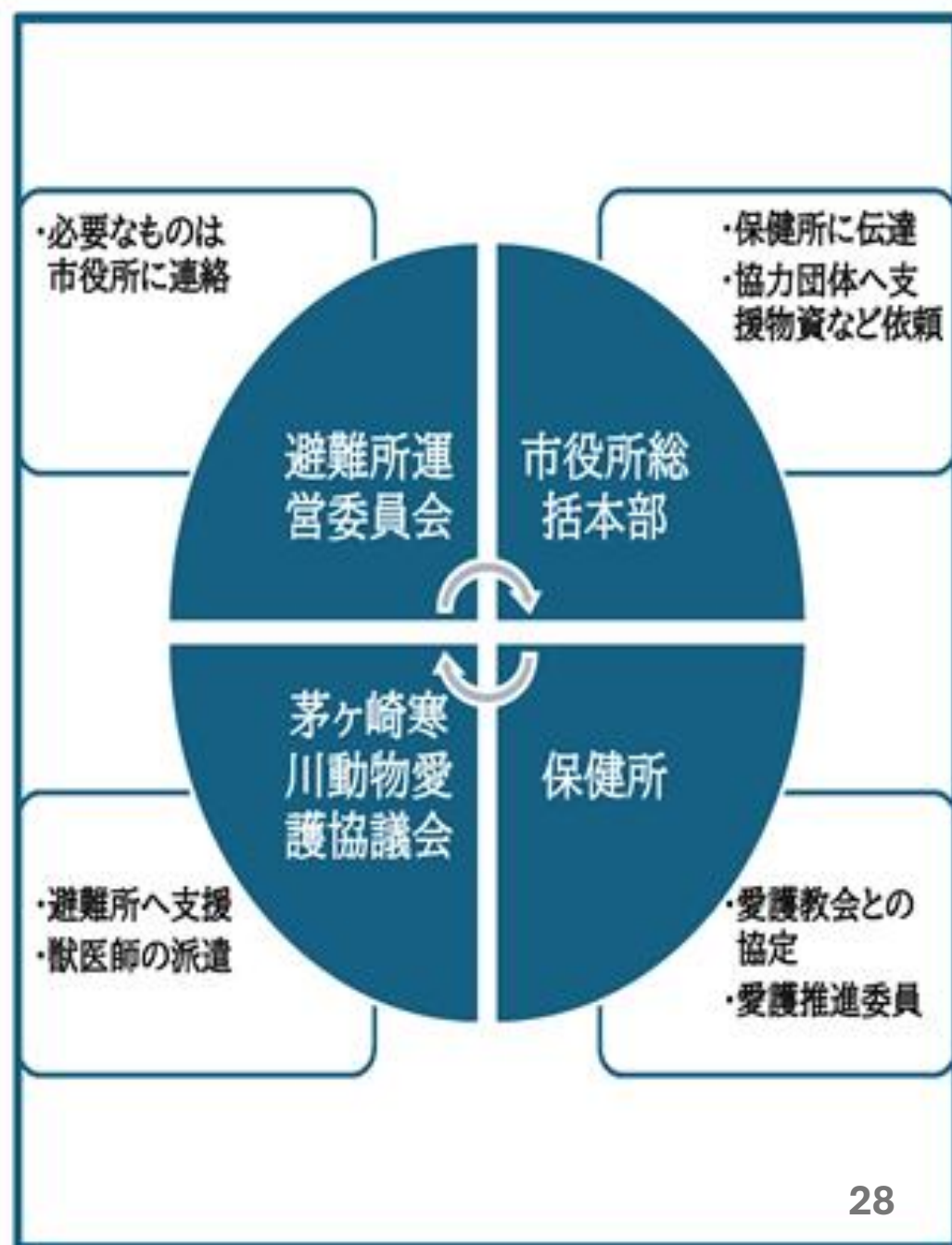
上記の方たちが平時の訓練手順に従い設営に入る



ここからがPSAのお仕事に

災害時のペット避難/救助の組織図

〈避難所〉



P避難所入所受付手続きの流れ

① ペット防災手帳所持

- ペット防災手帳は入所**手続き**の**短縮**になります
- 普段からビニールケースに入れ
ペットケージに**入れておいて**ください
- 海岸地区で配布する手帳を**推奨**いたします

② ペット防災手帳**未所持** 個別記入表に**記入**(猫/小動物用有)

例) 個別記入票

別添①

(犬用) 整理番号		受入日		退出日	
飼い主持ち込み	保護	傷病	その他		
氏名		連絡先			
住所					
呼び名		鑑札番号		注射履歴番号	
種類		性別	オス	メス	避妊・去勢済
体格	大	中	小 (体重)	毛色	年令
予防注射歴		首輪	有 (色)	無	
病歴					
性格 特徴	マイクロチップ番号 ()				

P防災手帳/個別記入票 で  第**1次**受付へ

第1次受付

同行ペットの**現状態報告**(ケガ/病気)

① 体温検査

② 現在のペットの怪我/体調不良の申告

※体調の悪い子や怪我の状態が緊急を要する状態の子は預かれない

③ ペットの既往歴/ 噛み癖/泣き癖などの申告

※緊急時は混乱を防ぐためペット防災手帳を持っていない人の窓口を別に

※スペースの割り当てに必要情報

④ 体調や怪我の状況を把握し管理リーダーが獣医師へ繋げる

(避難所に獣医はいない)

⑤ 飼い主の被害状況確認 (我慢しても避難所しかない場合)

*「個別記入票別添①記入」と「第一次受付内容」確認を**徹底**する

管理リーダーとなる皆様には、平時に「ペット防災手帳」が海岸
地区では配布される事の周知活動をお願いします



第1次受付 ペット入所許可-管理番号

第1次受付

同行ペットの**現状態報告**(ケガ/病気)

☐ ① 体温検査 度

☐ ② 現在のペットの怪我 / 体調不良の申告

※体調の悪い子や怪我の状態が緊急を要する状態の子は預かれない

☐ ケガをしている 軽・中症/部位()
重症/部位 ()

☐ 体調が悪い 高齢/その他 症状()
獣医師に連絡 未 / 済
獣医師に連絡 未 / 済

☐ ③ ペットの既往歴 / 噛み癖 / 泣き癖などの申告

噛み癖 ある / なし 泣き癖 ある / なし
既往症 ある / なし ある()
その他の癖 ()

☐ ④ 飼い主の被害状況確認 (我慢しても避難所しかない場合)

ペット名

入所番号

番



第2次受付 ペット入所許可-管理番号

別添③

例) 個体識別票

番号：

呼び名		氏名	
種類		性別	
毛色		年令	
病歴			写真
性格 特徴	マイクロチップ番号：_____ 鑑札番号：_____ ※犬のみ		



提出書類情報が管理の要

第1次受付 の 情報をもとに



第2次受付 入所許可-管理番号を発行



* スペースの確定とケージの貸し出し(リード入所)



全てのケージには番号/ビニールバックには情報



異なるリーダーでも情報確認で同対応が可能に

* 人もペットもスペース配分を行うための 線引きを明確に!!

： 人の避難所受け入れで問題になるのが・・・

「誰をどこに」です

なぜ、テントでなくブルーシートなのか？

： ペットの場合それほどではなくても、徐々にその他の
問題が出てくることも考えられます・・・

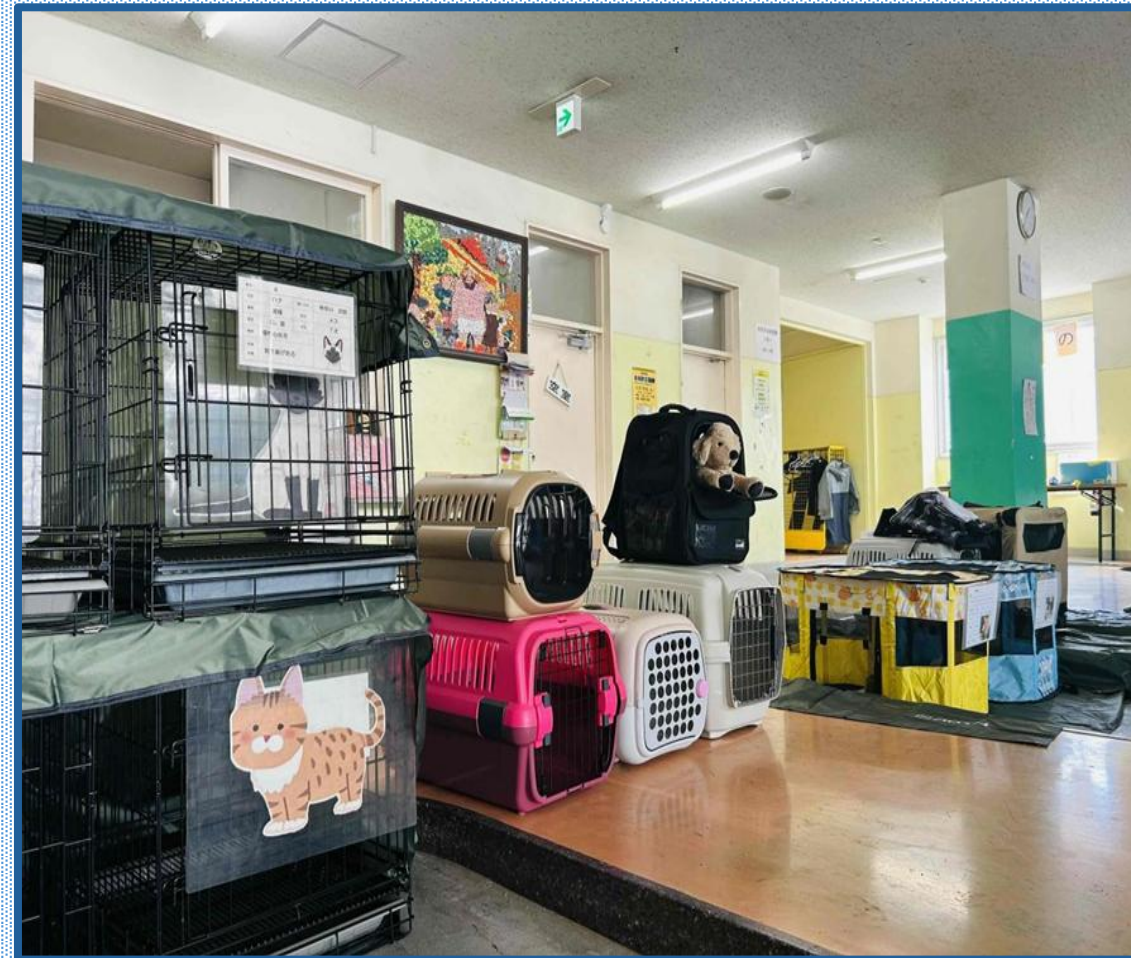


明確な線引きを作成し全員で共有/実施

して行くのが「PSA」の重要な役目です

(2024年のPSA 3級の様子)

- 並べられているのは、ほぼ中型犬のクレートとキャリーです
- 靴箱は一段高くなっており廊下との境までが使用可能、クレートを横並びにし出入口を外に向けるとかなり置ける
- 下のコンクリート部分をどう使うか
- 下記写真の右奥が本部予定



現状ある スペースをどのように住み分けしますか？

38



体育館への導線から外れた入り口
水場が3箇所



左方向の応接室に対策本部設置



体育館への導線側入り口



両サイドの壁側に半面の靴箱/3台
の傘立て/左奥に2F階段と出入口



ペットスペース U字型の靴箱3台
奥は廊下で左方向に校長室職員室



傘立てを廊下左奥に出し校長室(対
策本部)仕切ペットスペースを独立

スペース振り分け基準は？

振り分けの基準が対応する人により異なることが無いように「**共通基準**」を設けます



- ： **種類** （犬・猫・ウサギ・小鳥・エキゾチックアニマルなど）
 - ： **大きさ**（体重など）
 - ： **癖** （吠える・咬む・怯える・威嚇するなど）
 - ： **特性** （明るさに敏感・音に敏感など）
 - ： **自分を動物とっていない**（他の犬や動物を怖がる） など
- 皆さんの**ご意見**を基準作成に反映します

Gワーク2 スペースの振り分け

各Gで優先事項を考え3分 ⇒ Gの見解の纏め5分 ⇒ 代表者発表3分

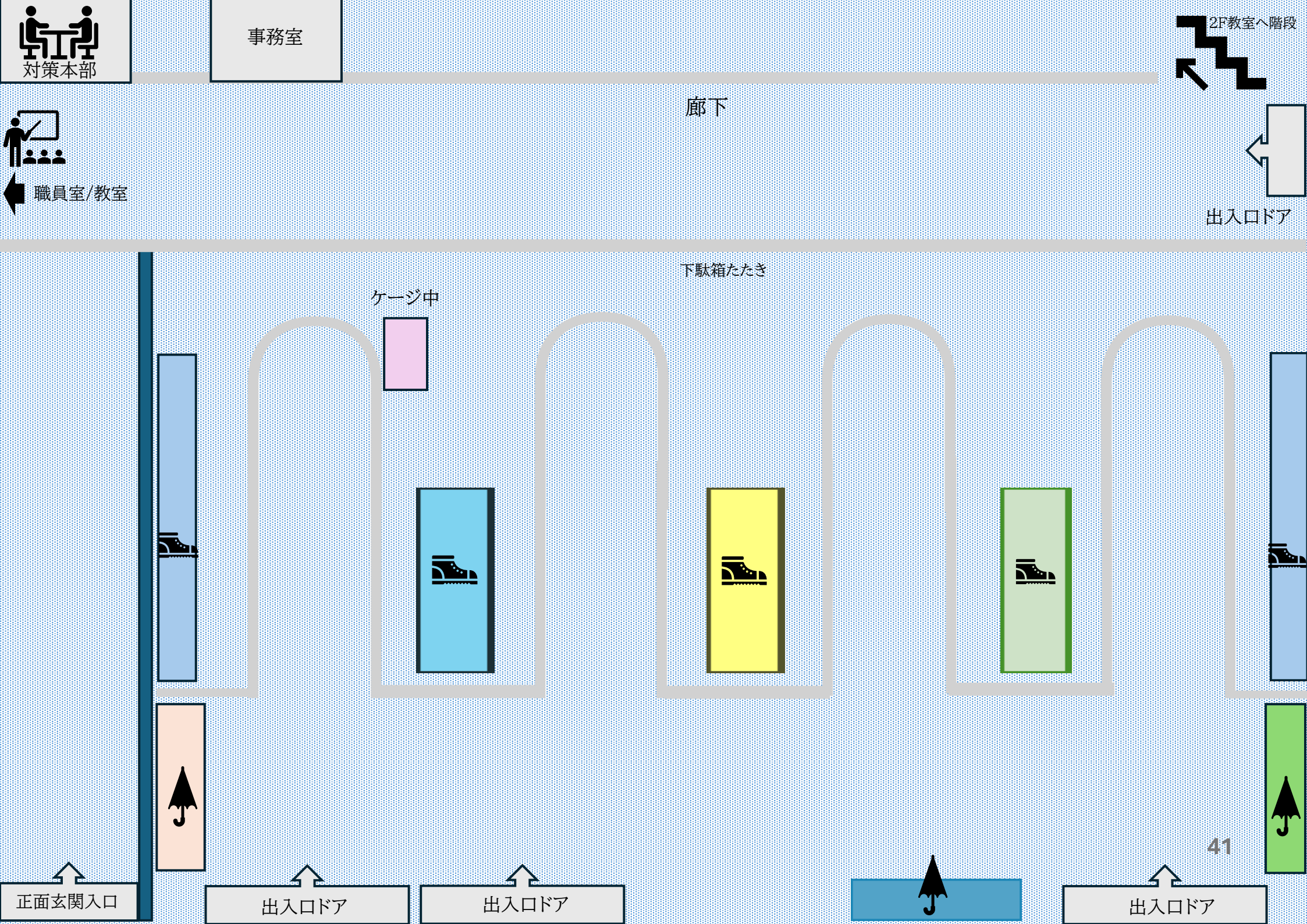
Q2 現状はここしかない！ では・・・どんな基準で
何を優先事項としてレイアウトしますか？

： 出入口はどこをメインに？（人とペットの導線は別に）

： スペース振り分けの基準は（種類・癖・大きさ）？

その他・・・

その他、振り分け基準と場所を縛りのある中で
何を優先するか・・・皆で選択することが重要です
「平时に考え共通認識を持てれば行動に迷いが無い」




Gワーク3 スペースが足りない

- : 校内で使えそうな他の場所を考えてみよう
- : 東小・一中の現ペットの場所は★マーク/❤マークは熱望すれば可能性あるかもしれない場所



Q3 ❤が付いている3か所のうちいちばん設置がしやすいと考えられる場所はどこでしょう？
その理由は？ (P避難所の在り方の基本を理解しているか)

各人1分で考えGで発表⇒ Gの**見解**の纏め3分 ⇒ 代表者発表2分



地域の学校名



地域の指定避難所内で
使用可能な場所を考えよう



私が考える・・・P避難所に
いちばん追加したい場所

A

:

:

理由は？

:

:

P避難所として大切な事は
为什么呢？

A 大切な事柄と理由

:

:

:

ペットと一緒の避難

皆さんのレポートの中からヒントをください

* 同伴避難 何か考えられるはず…



* 車中泊/テント泊

多くの被災地で事例が…



1つの提案・・・身近なゴルフ場がある

益城町の避難所ではトラブルを防ぐため、
ボランティアが避難所の裏に飼い主がペットと
ともに過ごせるテントを設営

写真提供：ピースウィンズ・ジャパン（番組より）



ペットを愛する私達が唯一恵まれているのは、
震災後の同時多発延焼火災から身を守る南側最後の
広大な「みどりの砦」の存在



「ペット避難所管理リーダー」2級講座 終了

今回のポイントは3点

- ： Gワーク1 災害時に自分で決断できる知識と勇気が家族を守り地域の防災力も上げるという観点をもち
- ： Gワーク2/3 「人とペットが共存する避難所管理と運営」に必要な基礎的な知識と方針を共有したことで
- ： ペット避難所管理リーダーとして「自身で考え対応する力」を持つことになります

次回1級講義は各地域の獣医師と準備してください。

本日の参加者にPSAAの認定書をお渡しできて
チームとなる事を心より楽しみにしています…



大切な家族のために知っておきたい
ワンポイント講座
ペット栄養管理士 新倉みさ



もしもの時に命を救う



食事と栄養



新倉みさプロフィール

◆ペット栄養管理士 / ペットフード安全管理士 / 愛玩動物飼養管理士

<活動実績>

「愛犬のための栄養教室」主宰（東京・神奈川・大阪）
湘南鎌倉クリスタルの愛犬のための食事のレシピ作成
葉山ホテル音羽ノ森「愛犬のためのお食事」監修
手作りご飯レシピの出版
ペットオーライ食事相談員
犬の栄養に関するメディアでの記事掲載多数



災害時における ペットの救急対応と応急手当

= 災害時に、命の危機にありそうなペットをみつけたら =

- 成田直樹, 獣医師, 動物麻酔基礎認定医
シーサイドアニマルクリニック
(神奈川県茅ヶ崎市)



本日の内容



災害発生現場でのペットのトリアージ

命の危機にあるペットの心肺蘇生法

災害に伴うペットの応急手当

災害時における 動物救護活動に関する協定書

茅ヶ崎寒川獣医師会と茅ヶ崎市、寒川町それぞれと協定を締結（H25）

動物救護活動をはじめとした「**応援活動**」を行う（各会員病院にて）

救護センターが設置されるまでの救急対応

茅ヶ崎寒川獣医師会所属の動物病院 11件／32件

ペット避難所管理リーダーには
病院に来るまでのトリアージ・応急手当・心肺蘇生をできる範囲で
やっていただきたい

「ペット避難所管理リーダー」

育成テキスト完成 報告会

2025年12月13日(土)

- * 茅ヶ崎市防災対策課 茅ヶ崎市の避難所開設 / 運営について
- * えひめイヌネコの会 レジェンド…愛媛県での取り組み
- * わんだフルフェス実行委員会 東大和市で始まる新チャレンジ
- * 「ペット避難所管理リーダー」とは マザーアース茅ヶ崎

PET SHELTER
Administrator Association
CHIGASAKI



2026年 受講・開催希望について

海岸地区 2月21日(土) 2級講義 海岸コミュニティーセンター 午前10時～
「P避難所管理リーダー育成講座」開設ご希望の方はマザーアース茅ヶ崎担当者へ
受講・開催とも 山田 090-3236-6285

私たちはあらゆる繋がりを信頼で結び
災害と向き合いその準備をしていきます

テキスト作成 市民団体マザーアース茅ヶ崎

協力 茅ヶ崎市防災対策課/保健所

2026年の目標

- 各避難所が「ペット避難所管理リーダー」を育成し、人とペットが共存できる**避難所整備**に着手していただけるように周知活動
- 行政で行っている「防災リーダー」育成研修に**選択科目**として「ペット避難所管理リーダー」育成を入れ込んでいただけるような働きかけ

一つひとつ難題を越えて
確かに前進する仲間たちと
共に進めることに感謝を・・・

マザーアース茅ヶ崎

テキスト使用方法

マザーアース茅ヶ崎**HP**より2・1級をダウンロードしてお使いください(無料)
最初の立ち上げや内容説明に関して詳細情報が必要な方は何時でもご連絡ください

2026年 受講・開催希望について

海岸地区 2月21日(土) 2級講義
海岸コミュニティーセンター 午前10時～
「P避難所管理リーダー育成講座」

③ステップパッケージ開設ご希望の方は

マザーアース茅ヶ崎担当者へ
受講・開催とも 山田 090-3236-6285



マザーアース茅ヶ崎HP



@PETSHELTER_CHIGASAKI

ありがとうございました

5分休憩

えひめのレジェンド

東大和の新たな取り組み